



エチオピアにおける包括的かつ効果的な 国家レベルの対話プロセスの支援

\$ 予算: 2,914,078 米ドル



実施期間: 2022年8月～2025年7月

開発課題

2022年2月、下院は布告第1265/2021号を可決し、エチオピア国家対話委員会（ENDC）を設置した。ENDCがその任務を成功させるためには、利害関係者やパートナーからの支援が必要だ。これに基づき、UNDPはエチオピア政府から、ENDCに実質的な技術支援を提供するとともに、資金動員や資金管理サービスを引き受けるよう要請されている。そこで、この要請への対応として、プロジェクト文書（ProDoc）が作成され、UNDP、財務省、ENDCの間で署名された。ProDocは、今後3年間（2022年～2025年）のENDCに対する支援のためのプログラムの枠組みを明確にしたもので、主要な概念的な検討事項と成功要因を考慮して設計されている。その際、国家レベルの対話は、包括性、透明性、独立性に重点を置きながら、幅広いステークホルダーの間で国家の重要課題に関する合意を生み出すことを目的とした、国民が主体となって進める政治プロセスであることが強調されている。したがって、委員会は、競合する利害関係やニーズに対して実行可能な解決策を見出すためのメカニズムを適用し、既存の正式な制度では信頼できてかつ決定的な解決策を見出すことが難しいような争点に対処する。

プロジェクトの目的

プロジェクトの主な目的は2つある:

ENDCがより有能で透明性が高く、最終的には信頼され、信用できる／合法的な機関になるよう支援する。

包括的で透明性があり、信頼できる対話を実施するために必要な技術的、運営的、財政的支援を提供する。従って、プロジェクトの戦略的アプローチの狙いは、すべての地域から女性、若者、国内避難民、その他の不利な立場にあるグループを含むすべてのグループの包摂的参加の確保を、信頼できる包摂的プロセスの重要な特徴とすることである。

プロジェクトの成果

独立し、信頼され、権限を与えられ、市民と利害関係者を関与させることができる国家対話委員会を設置する。

包括的で透明性が高く、ジェンダーに配慮した参加型の対話が速やかに開始され、国民や主要な利害関係者の間で広く受け入れられる。

エチオピアが直面している最も重大な問題のうちいくつかについては、その解決策の可能性が対話とそのフォローアップにおける実質的な議論の一部となり、市民と政治のエネルギーを引きつけると同時に、集中させている。

パートナーシップ

日本政府

SDGs への貢献

16 平和と公正を
すべての人に

